

室神山

学校便り
平成30年11月15日号
江津市立江津東小学校長 安食 徹

J P X（起業体験プログラム）

10月19日（金）にプレゼンテーションを行い、無事投資をしてもらえることになりました。三つのグループはサンピコ祭りへの出店に向けて、本格的な準備に入りました。

10月28日（日）の12時30分から14時まで、サンピコ江津で模擬店を出店しました。気持ちのよい快晴の下、たくさんのお客さんに来てもらうことができました。子どもたちは一生懸命に自分の役割に取り組んでいました。これから、この経験を振り返り、学習を深めていきます。江津市が進めている『ふるさとキャリア教育』という視点から、子どもたちが起業の難しさや楽しさを体感したことが、深い学び・生きる



る力となり、将来的に役立っていくことを願っています。ご協力いただいたサンピコ江津の皆様・関係機関の皆様・保護者の皆様、本当にありがとうございました。

漢字検定

10月19日（金）に漢字検定がありました。希望者が参加し、鉛筆を走らせる音だけが聞こえる静まりかえった中で、集中して検定に取り組んでいました。



全校朝礼で話したこと

10月23日（火）に全校朝礼がありました。硬筆書写、科学作品、読書感想文のコンクール入賞者の表彰をした後、次のような話をしました。

今の表彰は、がんばったこと、努力してきたことが実を結んだ結果です。また、残念ながら賞までは取れなかった人も、これまでしてきた努力は決して無駄ではありません。確実に自分の力になっています。これからも頑張ってください。そして、良い結果が出た友だちに対して、本当におめでとうという気持ちになってほしいと思います。うらやましいという気持ちもあって当然ですが、それを心の中で整理して、本気で「おめでとう」と祝福できるようになると、心は大きく成長します。仲間とのつながりも深まります。「今度は自分も」という気持ちも強くなります。前向きな努力につながります。

さて、2学期にはなかよし集会もあるので、今日は『仲良し』と『仲間』について話します。『仲良し』と『仲間』とはどう違うのでしょうか。『仲良し』は自分ととても気が合い、一緒にいて楽しいと感じ、大好きだと感じる友だちです。『仲間』とは、例えばクラスの仲間、学校の仲間、地域の仲間など、もっと広がりがあります。

だから『仲間』があって、その中に『仲良し』があります。どちらもとっても

大切です。仲良しの友だちと一緒にいると、心が安らぎ、元気になっていきます。これからも気の合う仲良しを大切にしていってください。

ただし、間違わないようにしてください。たまに『仲良し』＝『仲間』と思い違いをする人がいます。仲良しでなければ仲間じゃないと考えてしまうのです。そうすると仲良しではない気の合わない友だちを仲間と認めず、仲良しの友だちへ対するのとはあからさまに接し方を変えたり、意地悪をしたりする危険性ができます。ひどくなると、いじめや差別になってしまいます。

『仲良し』は歪んで汚れた鏡のようなところもあります。仲良しの友だちは、何をしても、基本的には自分の気分が悪くならないように接してくれるからです。良い関係を保つことを最優先にするため、少々の短所やいけないことには目をつぶって、だいたい「いいんじゃないの」と賛同してくれることが多くなります。それに対して、『仲間』はきれいな鏡です。いけないことはいけないと、何かの形で伝えてくれます。気分は少し悪くなるかもしれませんが、自分の成長に本当に役に立つのはきれいな鏡の方だと思います。おしゃれをするときに歪んで汚れた鏡を使いたがる人はいないでしょう。映る自分の姿が本物だとは信じられないでしょうから。ただ、素直な心を持たないと仲間からのメッセージに気づきませんし、たとえ気づいても認めないと思います。それではきれいな鏡は使えません。仲間を大切にしてください。きれいな鏡を使えるようになってください。

また、言いにくいことでも、その人のためを思って、勇気を持って伝えてくれる仲良しは、本当の友だち、親友になったということだと思います。そうするとその友だちは人生の宝物みたいなものですね。これからも仲良しも仲間も両方大切に、しっかり成長していってください。

緑の少年団（3・4年）



10月23日（金）に3・4年生は、もりふれ倶楽部の方に講師として来ていただき、緑の少年団のネイチャーゲームをしました。あいにくの雨模様で、戸外での活動はできません

でしたが、体育館で楽しそうに活動していました。

小中合同情報モラル講演会（5・6年）

10月24日（水）に江東中学校で情報モラル講演会がありました。講師は情報アナリストの長谷川陽子先生でした。本校からは5・6年生が参加しました。年々進歩していく情報の世界ですが、どんどん便利になっていく反面、危険性も増えています。スマートフォン等の情報機器の安易な利用から、多くの犯罪や悲しい出来事が生まれているそうです。情報モラルを知るとは、自分を守ることに感ずきました。



児童集会（1年生の発表）

10月30日（火）に児童集会があり、1年生が発表しました。初めての全校の前での発表になり、随分緊張したことと思いますが、数え歌をしっかりと覚えて、大きな声で発表しました。堂々とした発表でした。学習発表会が楽しみになりました。



学習発表会



11月10日（土）に学習発表会を開催しました。保護者の方々、地域の方々には多数おいでいただき、発表会を盛り上げて頂きましたこと、本当に感謝です。子どもたちの一生懸命な姿をご覧いただき、温かく見守り応援していただきましたこと、子どもたちの胸に強く焼き付いたことだろうと思います。

週が明けて11月12日（火）の朝、校長からの以下のようなメッセージを担当に代読してもらいました。概要を紹介します。

皆さん、学習発表会、お疲れ様でした。本当に頑張りました。来賓の方々からも、「本当に素晴らしかった」「感激した」「何度も涙が出そうになった」などの感想をいただいています。途中までの予定を延ばして最後まで見てくださった来賓の方もおられました。会場内では涙を拭かれている人もたくさんおられました。本当に皆さんが、全力で最高の演技をしようとした結果です。ありがとう。皆さんの頑張りのおかげで見にこられた方々が幸せになったと思います。先生方も自分のクラス子どもたち、江津東小の子どもたちのことを誇らしく思え、とっても幸せになったに違いありません。校長の私も、すごい子どもたちでしょうと、とっても自慢したくなりました。本当にありがとうございました。

低学年は、先生を信じて先生の言われることを聞いて、一生懸命頑張っていましたね。素晴らしいです。中学年はそれに加え、クラスの仲間と力を合わせていい発表にしようとしたね。素晴らしいです。高学年はその上に、学校全体のことまで考えながら頑張っていましたね。素晴らしいです。特に6年生は当日の運営まで頑張ってくれました。5年生もそんな6年生の姿を目で追いながら、発表会当日の凛と張りつめた空気を作ってくれていました。本当にありがとう。

さて、実は高学年は今、思春期に入っています。それは自分のこと、友達のことなどを深く考えて悩んだり、時には友達と傷つけ合ったりすることもある時期です。自分の考えがしっかりしてくるので、大人に対して反抗的になることもあります。ストレスを抱えきれず、自分よりも立場の弱い人に八つ当たりをしてしまうこともあるでしょう。中学生頃まで続きます。一生懸命自分自身と向き合いながら、自分を作っている本当に大切な時期なのです。人生の中で最も重要な時期と言えるかもしれません。4年生以下の皆さんも、いずれ経験することです。自分のことだけでも大変なのです。高学年はそんな大変さを抱え、嵐のような、ジェットコースターのような時期を過ごしながらも、学校全体のことを考えて一生懸命動いてくれました。なかなかできることではありません。

6年生の皆さん、これからは小学校生活最後の4ヶ月です。来年度は中学生で

す。今よりも思春期真っ直中になり、心の揺れも大きくなります。どうか、自分をしっかり見つめ、自分の中の芯を作ってください。尊敬できる自分を目指して、「本当に自分自身に対して胸を張れるか」を問い続けながら頑張ってください。それが立派な中学生になる道だと思います。

5年生の皆さん、来年度は最高学年です。自分のことだけでなく、周りや学校全体のことにまで目を向けて頑張ってくれなければ困ります。来年の江津東小学校は皆さんの頑張りにかかっています。何でも人のせいにする『被害者の道』を選ぶことなく、『主人公の道』を歩めるよう頑張ってください。

これからも、江津東小学校のみんなが、いろんなトラブルがあっても許し合える寛容な心を持って、人を許す心の強さと勇氣を持って、出会いに感謝し合い、全員で江津東小学校をもっともっといい学校にしていってください。江津東小学校の子どもたち全員で、楽しく学べる感謝に満ち溢れた日本一幸せな学校を目指していきましょう。決して夢ではありません。皆さん一人一人が本気になれば、できることです。夢は叶わないものではなく、叶えるものなのですから。先生たちも本気で頑張ります。感謝、尊敬、寛容の心をもって、みんなで素敵なお友だちになってください。これで私の話を終わります。本当に学習発表会お疲れ様でした。ありがとうございました。

お礼

国際ソロプチミスト石見より、子どもたちのために図書券を寄贈して頂きました。有効に活用していきたいと思っております。ありがとうございました。

小・中合同 人権・同和教育研修会のお知らせ

グリーンケアワーカー・精神対話士の本郷由美子先生を招き、本校を会場に江東中学校と合同で、人権・同和教育の研修会を行います。本郷先生は、心理カウンセラー・各種セラピスト・グリーンケアの専門資格等多くの資格をお持ちです。著書に「虹とひまわりの娘」「グリーンケア 死別による悲嘆援助」「悲嘆の心理療法 ゲシュタルト療法の立場から」等があります。昨年度の2月には本校の職員研修会に来て講演していただき、深い感銘を受けました。アンケート結果もとても好評でした。

本郷先生は、平成13年6月8日に大阪府池田市の大阪教育大学附属池田小学校で発生した小学生無差別殺傷事件の被害児童の母親でもあります。人権・同和教育の基本である命の大切さ、生きるということの意味等について深い研修ができると思います。また、大変な事件を経験された先生の人生観などに触れることは、私たちが日々を豊かに生きるための重要な示唆を沢山いただけることと思います。

保護者・地域の方で、関心のある方は是非お越しください。その際は会場準備の都合上、前日までに江津東小学校 星野教頭（55-0003）までお知らせください。

本郷 由美子 先生 講演会

14時10分～15時20分

『生きる力 ～愛しみとともに生きて～』

15時40分～16時20分

『グリーンケアパートナーとして生きる』

☆日時：平成30年12月18日（火） 午後2時～午後4時30分

（前半は小学校5・6年児童、江東中学校全生徒も参加します）

☆場所：江津市立江津東小学校 体育館

※演題は変更になることがあります。